

ボーリング柱状図

調査名 大野海岸早時地区海岸 海岸保全事業に伴う業務委託

ボーリングNo. 5 1 3 2 3 2 6 3 0 0 0

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Bor. No. 1		調査位置	広島県廿日市市大野早時			北緯	34° 18' 10.0342"					
発注機関	広島県西部建設事務所廿日市支所			調査期間	平成29年11月29日～平成29年11月30日			東経	132° 17' 37.8387"				
調査業者名				主任技師				現代理人	コア鑑定者				
ボーリング責任者				現場				ハンマー	半自動型				
孔口標高	CDL	3.20m	角	180° 上 下 度	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦D-1	ポンプ	東邦BG-3
総掘進長	7.00m		度				エンジン	ヤンマーNFD13					

標尺	層厚	深	柱状	土質	色	相対	相対	記	粒度試験による土質区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験			原位置試験		試料採取		室掘			
											深	10cm毎の打撃回数	打撃回数/貫入量	深	試験名及び結果	深	試料採取番号				
1	2.20	1.00	1.00	礫混り砂質土	暗黄灰			硬土。細～中粒のまさ土。φ5～30mmの角礫や垂角礫が不規則に混じる。			1.15	2	1	1	4/30	4		1.15	P-1	物理	
2	1.00	1.20	2.20	礫混りシルト質砂	暗灰褐	緩い		埋土。瓦礫を伴う中～粗粒のまさ土。φ5～30mmの角礫が混じる。掘削水は断続的に透水する。			2.15	2	2	2	6/30	6		2.15	P-2	物理	
3				粘土混り砂	淡灰褐	緩い		中～粗粒砂。φ3～10mmの角礫が混じる。礫の基質は風化した花崗岩。少量の粘土分を含む。掘削水の透水が続く。		11/29 3.40	3.15	1	1	1	3/30	3		3.15	P-3	物理	
4	-1.20	2.20	4.40	風化花崗岩	淡灰褐			軟岩1。中～粗粒のまさ状もしくはφ3～8mmの風化した角礫状。全体に構成鉱物の細粒化が進み、特に角閃石・カリ長石・雲母は細粒化によって脆弱な砂状をなす。石英はφ2～3mmの細粒状で多く残る。			4.15	1	2	7	10/30	10		4.15	P-4	物理	
5											5.15	50		50	50以上			5.15	P-5	物理	
6											5.25			10				5.25	P-6	物理	
7	-3.80	2.60	7.00								6.15	32	18	50	50以上			6.15	P-7	物理	11/29
											6.30	5	5	16				6.30			11/30
											7.00	50		50	50以上			7.00			
											7.05	5	5	5				7.05			